

危機管理会議

日 時：令和5年11月22日（水）午前9時00分から

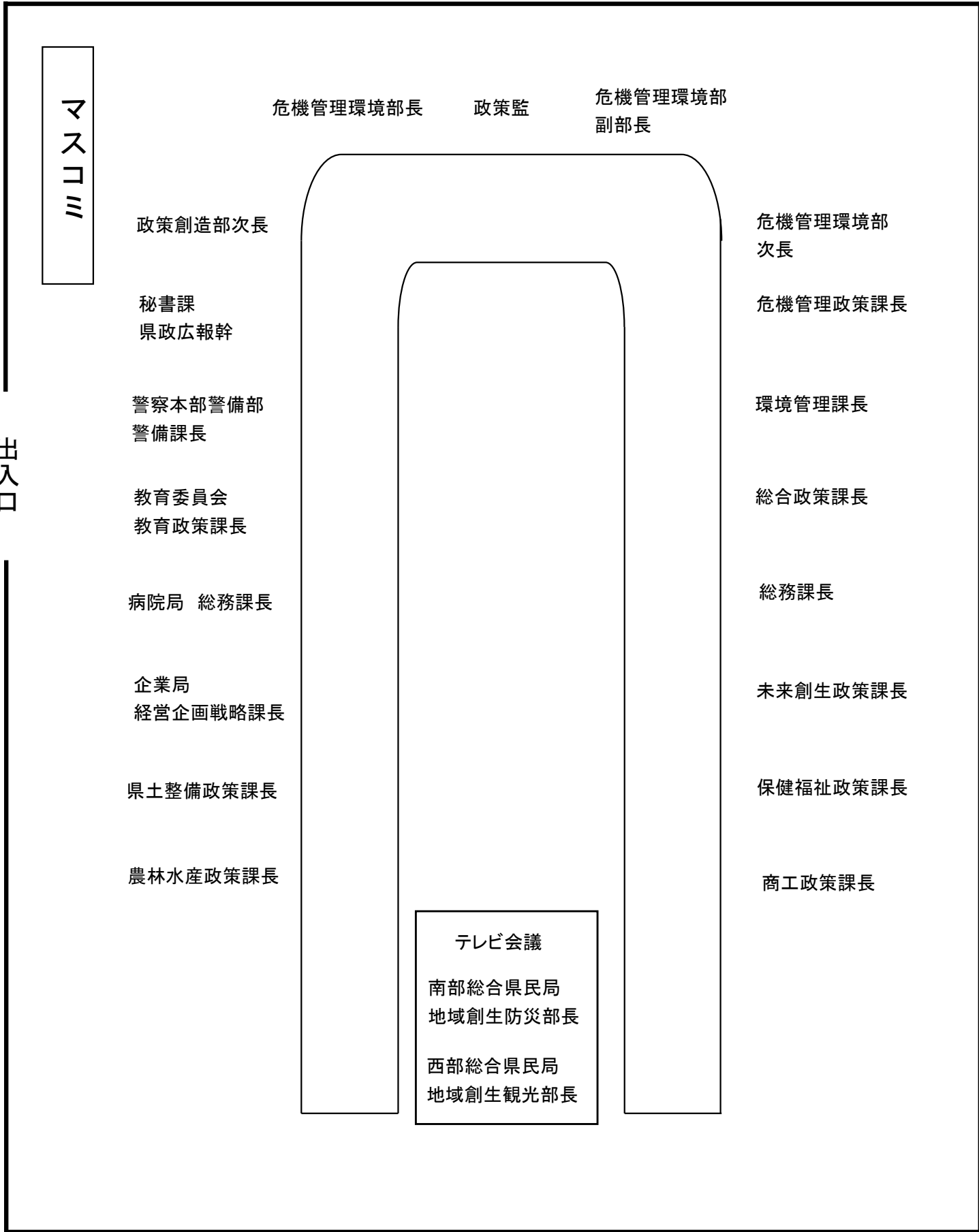
場 所：県庁3階 特別会議室

協議事項

北朝鮮による衛星打ち上げを目的とする弾道ミサイル技術を使用した発射について

危機管理会議 配席図

令和5年11月22日（水）9:00～



令和5年における北朝鮮によるミサイル・人工衛星発射事案の経過

年	月日	概要
2023年 (令和5年)	1月1日 ①	1日2時50分頃、北朝鮮西岸付近から、1発の弾道ミサイルを東方向に発射し、最高高度約100km程度で、約350km程度飛翔し、朝鮮半島東岸付近の我が国の排他的経済水域(EEZ)外に落下したと推定。
	2月18日 ②	18日17時21分頃、平壤近郊から、1発のICBM級弾道ミサイルを、東方向に発射し、約66分飛翔し、18時27分頃、北海道の渡島(おしま)大島の西方約200km、日本海の我が国の排他的経済水域(EEZ)内に落下したものと推定。飛翔距離は約900km、また最高高度は約5,700km程度と推定。
	2月20日 ③	20日7時頃、北朝鮮西岸付近から、2発の弾道ミサイルを東方向に向けて発射し、朝鮮半島東側の日本海、我が国の排他的経済水域(EEZ)外に落下したと推定。 ① 6時59分頃発射し、最高高度約100km程度で、約400km程度飛翔。 ② 7時10分頃発射し、最高高度約50km程度で、約350km程度飛翔。
	3月9日 ④	韓国軍によると、北朝鮮は、9日午後6時20分頃、西部のナンポ(南浦)付近から朝鮮半島西側の黄海に向けて短距離弾道ミサイルを発射した。
	3月14日 ⑤	韓国軍によると、北朝鮮は、14日7時41分頃から51分頃にかけて、南西部のファン(黄海)南道チャンヨン(長淵)付近から日本海に向けて短距離弾道ミサイル2発を発射したと発表した。
	3月16日 ⑥	16日7時9分頃、平壤近郊から、1発のICBM級弾道ミサイルを、東方向に発射し、約70分飛翔し、8時19分頃、北海道の渡島(おしま)大島の西方約200km、日本海の我が国の排他的経済水域(EEZ)外に落下したものと推定。飛翔距離は約1,000km、また最高高度は約6,000kmを超えると推定。
	3月19日 ⑦	19日11時5分頃、北朝鮮西岸付近から、1発の弾道ミサイルを東方向に向けて発射し、最高高度約50km程度で、約800km程度飛翔し、朝鮮半島東側の日本海、我が国の排他的経済水域(EEZ)外に落下したと推定。
	3月27日 ⑧	27日7時台、北朝鮮西岸付近から、2発の弾道ミサイルを北東方向に向けて発射し、朝鮮半島東側の日本海、我が国の排他的経済水域(EEZ)外に落下したと推定。 ① 7時47分頃発射し、最高高度約50km程度で、約350km程度飛翔。 ② 7時57分頃発射し、最高高度約50km程度で、約350km程度飛翔。
	4月13日 ⑨	13日7時22分頃、北朝鮮平壤付近から1発のICBM級の弾道ミサイルを、東方向に向けて発射。当該弾道ミサイルは、約1,000km程度飛翔し、日本海のわが国のEEZ外に落下したものと推定。 なお、7時55分に、「ミサイルが8時00分頃、北海道周辺に落下するものとみされる」旨のJアラートが発表されており、その後、8時16分エムネットで、「北海道及びその周辺への落下の可能性がなくなった」と訂正。
	5月31日 ⑩	31日6時28分頃、北朝鮮西岸東倉里付近から、1発の「人工衛星」と称する、弾道ミサイルの可能性のあるものを、南方向に向けて発射したが、6時35分頃、黄海上空で消失したものと推定。 なお、6時30分に、Jアラートにて、沖縄県に対し、ミサイルの発射情報が発表された後、7時4分に、我が国には飛来しないものとみられ、避難の呼びかけを解除するとの発表がなされた。
	6月15日 ⑪	15日19時台、北朝鮮西岸付近から、少なくとも2発の弾道ミサイルを、東方向に向けて発射。 ① 19時24分頃発射し、約11分飛翔し、19時35分頃、石川県の舳倉島の北北西約250kmの日本海のEEZ内に落下したものと推定。飛翔距離は約850km、また最高高度は約50km程度と推定。 ② 19時36分頃発射し、約11分飛翔し、19時47分頃、石川県の舳倉島の北北西約250kmの日本海のEEZ内に落下したものと推定。飛翔距離は約900km、また最高高度は約50km程度と推定。

年	月日	概要
2023年 (令和5年)	7月12日 ⑫	12日9時59分頃、平壤近郊から、1発のICBM級弾道ミサイルを、東方向に発射し、約74分飛翔し、11時13分頃、北海道の奥尻島の西方約250km、日本海の我が国の排他的経済水域(EEZ)外に落下したものと推定。飛翔距離は約1,000km、また最高高度は約6,000kmを超えると推定。
	7月19日 ⑬	19日3時台、北朝鮮西岸付近から、2発の弾道ミサイルを、東方向に向けて発射し、朝鮮半島東側の日本海、我が国の排他的経済水域(EEZ)外に落下したと推定。 ① 3時29分頃発射し、最高高度約50km程度で、約550km程度飛翔。 ② 3時45分頃発射し、最高高度約50km程度で、約600km程度飛翔。
	7月24日 ⑭	24日23時台、北朝鮮内陸部から、2発の弾道ミサイルを、東方向に向けて発射し、朝鮮半島東側の日本海、我が国の排他的経済水域(EEZ)外に落下したと推定。 ① 23時54分頃発射し、最高高度約100km程度で、約350km程度飛翔。 ② 23時59分頃発射し、最高高度約100km程度で、約400km程度飛翔。
	8月24日 ⑮	24日3時51分頃、北朝鮮北西部から、弾道ミサイル技術を使用した発射を強行し、発射された1発は複数に分離し、 ・1つは、3時58分頃、朝鮮半島の西約300kmの黄海上の予告落下区域外、 ・1つは、3時59分頃、朝鮮半島の南西約350kmの東シナ海上の予告落下区域外、 ・1つは、4時00分頃、沖縄本島と宮古島との間の上空を通過し、4時5分頃、フィリピンの東約600kmの太平洋上、EEZ外である予告落下区域外に落下したものと推定。 なお、3時54分に、Jアラートにて、沖縄県に対し、ミサイルの発射情報が発表された後、4時7分に、ミサイル通過情報・避難の呼びかけの解除を発表。
	8月30日 ⑯	30日23時台、北朝鮮西岸付近から、2発の弾道ミサイルを、北東方向に向けて発射し、朝鮮半島東岸付近、我が国の排他的経済水域(EEZ)外に落下したと推定。 ① 23時38分頃発射し、最高高度約50km程度で、約350km程度飛翔。 ② 23時46分頃発射し、最高高度約50km程度で、約400km程度飛翔。
	9月13日 ⑰	13日11時台、北朝鮮西岸付近から、2発の弾道ミサイルを、東方向に向けて発射し、朝鮮半島東側の日本海、我が国の排他的経済水域(EEZ)外に落下したと推定。 ① 11時41分頃発射し、最高高度約50km程度で、約350km程度飛翔。 ② 11時51分頃発射し、最高高度約50km程度で、約650km程度飛翔。
	11月21日 ⑱	21日22時43分頃、北朝鮮北西部のトンチャンリ地区から南方向に向けて、衛星打ち上げを目的とする弾道ミサイル技術を用いた発射。 発射された1発は複数に分離し、 ・1つ目は、22時50分頃、朝鮮半島の西約350kmの東シナ海上、予告落下区域外、 ・2つ目は、22時55分頃、沖縄本島と宮古島との間の上空を通過し、22時57分頃、沖ノ島島の南西約1,200kmの太平洋上、EEZ外である予告落下区域内に落下。 なお、22時46分に、Jアラートにて、沖縄県に対し、ミサイルの発射情報が発表された後、23時16分に、エムネットにて、避難の呼びかけの解除を発表。 地球周回軌道への衛星の投入は確認されていない。 ※事案の発生回数は、NHKの発表している「弾道ミサイルの可能性のあるものや、弾道ミサイル技術を用いたものを発射」回数の数値を記載。

北朝鮮による「人工衛星」打ち上げに係る通報事例

	年	予告期間	発射日	発射時刻	発射場所	概要
1	平成21年 (2009年)	4月4日～ 4月8日 (2日目)	4月5日(日)	午前11時30分頃	北朝鮮 北東部	人工衛星と称し、午前11時30分頃、北朝鮮北東部のムスダンリから東の方向に向かってミサイルを発射。東北地方上空を通過し、日本の東約2,100kmの太平洋上まで追尾したが、その後、着水したか、飛行を続けたかについては確認できていない。
2	平成24年 (2012年)	4月12日～ 4月16日 (2日目)	4月13日(金)	午前7時38分頃	北朝鮮 北西部	人工衛星と称し、午前7時38分頃、北朝鮮北西部のトンチャンリから南に向かってミサイルを発射。発射は失敗に終わったと推定され、我が国への影響は確認されなかった。
3	平成24年 (2012年)	12月10日～ 12月22日 (3日目)	12月12日(水)	午前9時49分頃	北朝鮮 北西部	人工衛星と称し、午前9時49分頃、北朝鮮北西部のトンチャンリから南に向かってミサイルを発射。午前9時59分から午前10時1分頃にかけて、沖縄県の先島諸島付近の上空を通過し、午前10時5分頃フィリピンの東約300kmの太平洋に落下。
4	平成28年 (2016年)	2月7日～ 2月14日 (1日目)	2月7日(日)	午前9時31分頃	北朝鮮 北西部	人工衛星と称し、午前9時31分頃、北朝鮮北西部のトンチャンリからミサイルを発射。午前9時39分頃から午前9時41分頃にかけて、沖縄県先島諸島付近の上空を通過し、午前9時45分ごろ、日本の南約2,000kmの太平洋上に落下。
5	令和5年 (2023年)	5月31日～ 6月11日 (1日目)	5月31日(水)	午前6時28分頃	北朝鮮 北西部	人工衛星と称し、午前6時28分頃、北朝鮮北西部のトンチャンリからミサイルを発射したが、午前6時35分頃、黄海上空で消失。
6	令和5年 (2023年)	8月24日～ 8月31日 (1日目)	8月24日(木)	午前3時51分頃	北朝鮮 北西部	人工衛星と称し、午前3時51分頃、北朝鮮北西部のトンチャンリからミサイルを発射。午前4時00分頃、沖縄県付近の上空を通過し、太平洋へ落下。
7	令和5年 (2023年)	11月22日～ 12月1日 (前日)	11月21日(火)	午後10時43分頃	北朝鮮 北西部	人工衛星打ち上げを目的とし、午後10時43分頃、北朝鮮北西部のトンチャンリから弾道ミサイル技術を用いた発射。11月22日午前7時現在、地球周回軌道への衛星の投入は確認されていない。

危機管理会議コメント

発射後11月21日午後11時現在、「モニタリングポストによる放射線量（空間放射線量率）」の測定結果は、通常範囲であり、発射前から変化なく、また、本日午前7時現在でも同様であり、本県の大気環境には現在のところ影響はないと考えられる。

引き続き、監視を続け、測定結果に異常値があれば直ちに報告します。

放射線量

空間放射線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)	発射前	発射後	現在
	11月21日 午後10時30分	11月21日 午後11時	11月22日 午前7時
徳島市 徳島保健所屋上	0.040	0.040	0.041
鳴門市 鳴門合同庁舎	0.053	0.054	0.054
美波町 南部総合県民局美波庁舎	0.052	0.052	0.052
三好市 池田総合体育館	0.059	0.059	0.060

徳島市：0.067 $\mu\text{Sv/h}$ を超えると対応指針レベルⅡへ移行

対応指針：原子力発電所災害対応指針